

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(2年目)案件:2006年8月分

番号	実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント
1.	<p>小樽商工会議所【OTARUーガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>・8月1日に開催した第1回実行委員会において、参加事業者の意向をできるだけ反映させた事業にしていくため、展示会等具体的な事業については、参加事業者で構成するワーキンググループで検討してもらうことを確認した。</p> <p>・8月21日に開催した第1回ワーキンググループ会議において、小樽のガラス工芸品のさらなるPR・販路拡大につなげていくため、東アジア圏、国内、小樽市内で各1回展示会を開催することとし、国内は2007年1月16日(火)～18日(木)に幕張メッセで開催の「東京デーブルウェアトレードショー2007」に、小樽市内は第9回小樽雪あかりの路の開催期間(2007年2月9日(金)～18日(日))にあわせて実施することとなった。東アジア圏での展示会については、台湾、香港、韓国を候補国としたが、決定には至らず、次回のワーキンググループ会議(9月6日)で議論することとなった。また、新製品等の価格調査を目的とした試験販売について、販売方法・販売にあたっての条件を確認し、可能であれば実施の方向で検討することとなった。その他、昨年度のJAPANブランド事業で制作した試作品について、小樽のガラス工芸品を広くPRしていくため、JAPANブランド事業以外に試作品展示要請があり一定の条件を満たす場合には、試作品の貸出展示を行うことが了承された。</p>  <p><担当者のコメント></p> <p>昨年の反省から、できるだけ参加事業者の方々の意見・考えを事業に反映できるような体制を整えようと、実行委員会とは別に参加事業者で構成するワーキンググループを設置し、これまで各1回議論を行ったが、それぞれの役割が明確になり、今後円滑に事業を進めていくことができるような気がする。</p> <p>参加事業者の方々も、昨年度からの継続事業ということをも十分に認識をしており、昨年度の取り組み成果をどのように本年度の事業に活かしていくかといった視点で事業の内容を考えている。</p> <p>今年度、新製品等の価格調査を目的とした試験販売が認められたことから、今年の展示会では、昨年度のアンケート調査の結果を踏まえて、試験販売を実施してみたいと考えている。</p>
2.	<p>旭川商工会議所【『旭川家具』ブランド確立推進事業】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>8月1日に旭川家具ブランド確立推進委員会を開催。この時にドイツ人で著名なインテリアデザイナー、ペーター・マリー氏を招聘し来年1月のケルンメッセ出展に向けて助言を受けた。このなかで、「作品をデザインするだけでなく商品化や展示の方法、写真撮影までトータルで考える必要がある」と語り、小間全体を統一する「システム・ファニチャー」の重要性を強調した。</p> <p>8月2・3日の2日間はケルンメッセに参加予定の各企業を訪問し、出展予定の試作品を見てアドバイスを受けた。ペーター・マリー氏は10月上旬にも来旭し、出展試作品の最終アドバイスを予定している。</p>

	<p><担当者のコメント> ドイツケルンメッセの前に東京のTOC有明に於いて「旭川家具コレクション 2006TOKYO」11月22日～11月25日迄を開催し、作品の評価を国内において調査することが目的であり、参加企業は試作品の製作に取り組んでいる。 この東京展示会開催を9月29日に東京においてプレス発表を予定しており現在準備を進めている。</p>
3.	<p>弘前商工会議所【津軽うるおい、うるわし事業プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 8月2日(水)13:00～21:00 新商品開発試作品制作WG イメージラフスケッチ検討 2. 8月9日(水)11:00～14:00 情報交流会 試作品評価実施 3. 8月9日(水)16:00～21:00 新商品開発試作品制作WG 4. 8月11日(金)14:00～17:30 宮城県商工会連合会JAPANブランド先行事例視察受入 8月12日(土)9:00～12:00 宮城県商工会連合会津軽塗工房見学会 5. 8月16日(水)16:00～21:00 新商品開発試作品制作WG 試作品検討 サイズ確定 6. 8月23日(水)16:00～21:00 新商品開発試作品制作WG 試作品塗模様検討 7. 8月30日(水)16:00～21:00 新商品開発試作品制作WG 試作品塗模様検討 8. 8月31日(水)14:00～16:00 第1回委員会開催 2年目事業計画・報告承認 <p><担当者のコメント> 8月は、県の事業である情報交流会に参加し、試作品の評価を頂いた。フランス料理と漆器の連携の可能性について多様なアドバイスを受け今後の連携の可能性につなげることができた。 また、9月からLLC設立に向けた作業を進めることとした。</p>
4.	<p>東通村商工会【「飛躍する未来へ!!「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 今月は会議等の開催は無し。 ※製造ラインは進行中。</p>
5.	<p>山形商工会議所【山形発「カロツツェリア型ものづくり」のブランド展開】</p> <p><今月の事業実施状況> 8月25日、山形商工会議所において、「JAPANブランド・山形カロツツェリア型ものづくり実行委員会」第1回委員会を、専門指導員である工業デザイナー奥山清行氏も出席し開催し18年度の事業計画を決定した。 内容は『「山形工房」をカロツツェリア型ものづくりのリーディングブランドに位置づけ、製品バリエーションを増やしなが、海外見本市出展を通して世界でのブランドメイクを進めていく』というもので、具体的には、これまで開発した製品のバリエーション展開を含む製品開発・改良を行い、来年1月に開催される、フランス・パリのインテリア国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に継続出展し、世界レベルでブランドメイクを図っていくことを決定。</p>
6.	<p>会津若松商工会議所【BITOWA FROM AIZU】</p> <p><今月の事業実施状況> ■委員会開催状況 H18 6/30-7/1【平成18年度事業打合わせ会議】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.昨年度事業取り組みについて検証 2.本年度は、より販売に結び付けられる商品作り、販促活動実施を目標に設定 3.事業別組織体制編成 4.夏の大茶会出展準備について協議

7/21【第1回事業推進委員会】

- 1.本年度事業概要説明
- 2.推進委員会・運営委員会の2委員会設置について承認
- 3.正副委員長・監事を選任
- 4.原案通り承認

7/21【第1回事業運営委員会】

正副委員長を選任

7/25【第2回事業運営委員会】

- 1.昨年度商品状況及び新商品開発方針について協議
- 2.宮城県商工会連合会視察依頼対応について

7/26【JETRO 貿易アドバイザーとの懇談会】

- 1.海外輸出・展示会出展についてジェトロ貿易アドバイザーによる講習会開催

7/28-29【第3回事業運営委員会】

- 1.本年度事業・体制を再確認
- 2.専門家・企業との全体事業計画詳細についての検討及び役割分担を決定
- 3.各チーム別事業方針を検討

8/9【第4回事業運営委員会】

- 1.本年度開発商品及びスケジュールの検討
- 2.販売目標・戦略検討及び展示出展について検討
- 3.各チーム別事業予算について協議
- 4.視察受入れ対応及びジェトロとの連携について協議

8/25【第5回事業運営委員会】

- 1.新商品デザイン素案及び試作について協議
- 2.海外・国内販売目標・戦略及び海外販売代理店の検討
- 3.各商談状況及び JIDA ミュージアムセレクション認定について報告

■展示会出展状況

7/5 伝統産品輸出シンポジウム「インテリア・テキスタイルを中心とした伝統産品の輸出促進」展示・交流会

場所:京都全日空ホテル(京都府)

内容:関西中堅企業約300社参加による海外輸出促進のためのシンポジウムに海外輸出に取り組んでいる伝統産業産地(16産地)の一つとして参加、商品展示他取組み状況を発表、交流会にも参加し、各企業との交流を図った。

7/13-7/18 「OZONE 夏の大茶会出展」

場所:リビングデザインセンターOZONE(東京都新宿区)

内容:例年10万人以上の来場者を数えるリビングデザインセンターOZONE 主催による第5回目の「OZONE 夏の大茶会出展」に出展・商談を実施。本年来場者数:12万人

<担当者のコメント>

専門家の協力・支援もあり、新聞、テレビ、雑誌など多くのメディアにも取り上げられ、高評価を頂いているが、殆どの事業者が海外輸出の経験も無く、限られた事業期間の中で商品開発、展示会出

	<p>展、販路開拓等多くの事業を行い、販売実績(特に海外)を上げるにはかなり困難あり、ある程度の期間が必要である。今後、如何に販路を見出し、販売実績を上げられるのかが課題である。</p>
7.	<p>川口商工会議所【「Casting Innovation 新・川口鋳物の創造」】</p> <p><今月の事業実施状況> 本プロジェクトの実施過程を客観的に考察し、併せてこれからの事業戦略について多面的なアドバイスをいただくことを目的に専門家を招聘し、本年度第2回のJAPANブランドプロジェクト委員会を開催した。</p> <p><担当者のコメント> 実際に地域でブランド展開をしている専門家は、その経験により、【方向性、最終目標の設定、それらに対する意識の共有化】などに1年以上を費やしたとの事例を紹介され、たいへん参考になりました。</p>
8.	<p>富士吉田商工会議所【海外展開ブランド支援事業『プロジェクト Fuji-façonné(フジ・ファソネ)』】</p> <p><今月の事業実施状況> 5回目を数える事業委員会においては、9月6・7日に開催される TISSU PREMIER 展を目前に控えて、既に調整を終えたブースレイアウトやスケジュール、実施方針等の最終確認をおこなった。 今回展開するために開発した製品についても、8月中旬には全て揃いそれぞれ出展に向けて細かな準備を完了した。 また、エージェントとの調整も最終段階に入り、今回が Fuji-Façonné というブランドネームでは初となるヨーロッパ展開へ向け、渡航を待つばかりとなった。</p> <div data-bbox="916 779 1479 1153" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">JAPAN ブランド事業委員会</p> <p><担当者のコメント> Fuji-Façonné というブランドネームでは今回が初の海外展示会となるものの、昨年度まで風・人・俱として積んできた経験が十分生かされ、ここまで大きなトラブルをかかえることなく準備が完了した。 今回の展示会では昨年度まで風・人・俱として展開してきて得られた評価を Fuji-Façonné としてうまく引き継ぎ、新たなブランドネームを立ち上げたことで、当産地製品がヨーロッパ市場に深く浸透することを期待したい。</p>
9.	<p>三条商工会議所【SANJO 発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> ◇高岡市デザイン・工芸センターより企画展開催の案内があり、JAPANブランド参加企業に商品借用の確認。展示会に製品を提供することで関係者と打合せを行い、準備を進めた。 ・展示会名「地方がつくるJAPANスタイル～伝統工芸産地の新たな挑戦～」 ・会期 平成18年9月30日(土)～10月9日(月) ・会場 富山県産業高度化センター ◇JAPANブランドに取り組んでいる三条、燕、加茂の3会議所が合同で、首都圏におけるPR事業を検討。 ・実施時期 平成18年11月28日(火)～12月3日(日) ・会場 東京日本橋NICOプラザ#2(日本橋三越本店向かい)</p>

10. 燕商工会議所【“enn”ブランド育成支援事業】

<今月の事業実施状況>

7月20日、「enn」ブランド育成委員会で、平成18年度の事業計画・予算について決定した。また、新商品・新企画について審議し、新メンバーの募集方法を決定した。

<担当者のコメント>

産地全体の活性化を考えれば、広くメンバーを募る必要がある。しかし、「enn」ブランドのコンセプトから受け入れにくい製品(メーカー)も現実的に存在する。

また、認定委員会の設置は理想ではあるが、コンセプト自体があいまいになることにもつながる。

11. 加茂商工会議所【桐を中心とした加茂木エブランドの海外市場販路確立プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

【検討内容】

- ・8/3 NICO プラザ出展打合せ……11月28日(火)～12月3日(日)まで三条・燕と共同開催。スケジュール、ブースについて三条地域振興局、装飾業者と検討。
- ・8/4 Web作成打合せ……………基本コンセプト及びデザイン概要、今後のスケジュールを決定した。
- ・8/24 新製品打合せ……………本年度の試作品についてデザイナーと検討。
- ・8/28 IFFT説明会参加……………11/22～25まで東京ビッグサイトにて開催。出展要綱、ブース等の説明会。
- ・8/29 ケルン見本市打合せ……………H19.1/15～21までドイツ・ケルンにて開催。今後のスケジュール、ブース小間割り等について協議。

【展示会等への出展】

・グッドデザインプレゼンテーション展

(会期)H18.8.23～26

(会場)東京ビッグサイト

(総来場者数)延4万人

日用品や家電・乗用車・情報機器などの工業製品を中心に約2,500件が展示された。

会場内には、ノミネートデザイン展示の他、グッドデザイン賞50周年を記念した特別展ブースが設けられた。加茂木エブランド製品は、「JAPAN Old&New 地域産業デザイン展」に出展。ワイドチェスト、チェスト(2色)、テレビボードを展示した。

Gマークについては2次審査通過(9/12現在。受賞発表は10/2)



グッドデザインプレゼンテーション 2006 出展
(東京ビッグサイト H18.8.23～26)





<担当者のコメント>

・展示会に向けた準備が始まりあわただしくなってきた。カタログ、Web作成等についても、早急に進める。

・これまでに2製品の発注があった。

12.	<p>岡谷商工会議所【岡谷絹<純絹(あしぎぬ)>製品のブランド化事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 平成18年度第1回岡谷絹ブランド推進協議会を7月26日(水)に開催し、今後の日程等について協議、決定した。また、DVDの一部修正を業者に依頼するとともに、ホームページ立ち上げに着手、イメージ作りを業者と検討中である。</p> 
	<p><担当者のコメント> 12月の国内展示会出展が決定し、新しい試作品の製作が急務となってきた。</p>
13.	<p>飯田市鼎町商工会【「飯田水引ブランド」世界へのはばたき】</p> <p><今月の事業実施状況> ○8月 7日:第3回プロジェクト委員会 ・9月のパリ市場調査事業協議。展示企画、展示品、デモンストレーションのあり方研究 ○8月17日:第4回プロジェクト委員会 ・パリ展示会展示品の決定。ディスプレイ検討 ○8月18日・事前PR用パンフレット送付(地総研経由フランス) 模擬ディスプレイ実施(写真撮影) ○8月25日~30日 展示用商品の荷造り。30日関空へ向け発送。</p>  <p>9月3日パリ「JIPANGO 展」模擬展示</p>
14.	<p>福田町商工会 【FUKUDE コード・ルネッサンス MISSION~コーデロイ(ブランド名 solbreveco)の世界への発信】</p> <p><今月の事業実施状況> 1) 8/1 (火)第2回プロモーション部会及びリテール分科会開催。 2) 8/3(木)剪毛工場視察受け入れ 3) 8/10(木)市場調査(池袋 東武百貨店) 4) 8/20(木)市場調査(静岡 伊勢丹) 5) 8/24(木)第3回リテール分科会開催</p>
15.	<p>一宮商工会議所【JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 8/23 JB/パリ展示商談会出展企業責任者会にて、 展示商談会のPR方法……………『テキスタイル ドゥ ジャーナル』誌 他にPR 招待状(国内向け)企業30部配布 会場……………エスパス シャトレ ビクトリア スケジュール……………9/18(月)10:00~18:00 9/19(火)10:00~18:00 9/20(水)10:00~17:00 オフィシャルホームページ……9/15(金)稼動予定</p> <p><担当者のコメント> 第3回パリ展示商談会まで、あと半月で出品物(07/08秋冬婦人物高級ファッション素材113点)もそろい準備が着々と進んでいます。</p>

16.	<p>有松商工会【創造と進化～有松鳴海絞りブランド～】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>●8月9日 第4回実行委員会 開催 委員会において製作された試作品用のテキスタイルサンプルを並べ意見を述べ、今後の試作品製作及び展示会の方法、さらに、マスコミへの告知方法やスケジュールについて、検討しました。</p> <p>また、プレスリリース及び雑誌掲載用に、一部の試作品(浴衣)については先行して、すでに製作に入っていることも発表されました。一部の試作品を先行して製作しています。</p> <p>●8月28日 JAPANブランド研修会 開催 大手百貨店の呉服バイヤー、及びSOUSOUデザイナー若林氏、カラーデザイナー下川氏をお迎えし最近の市場動向や、有松鳴海絞りの市場における評価や、問題点、さらに有松鳴海絞りの今後の可能性及び展開方向性について、忌憚のないご意見を伺うことができました。</p>	 <p>JAPAN ブランド研修会(8/28)</p>
17.	<p>高山商工会議所【「飛騨春慶のある生活提案」によるブランド育成事業(リビング編)】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 参画事業者とデザイナーとの聞き取りと意見交換を行った。 (個別に実施)</p> <p>＜担当者のコメント＞ 全体の意見交換、会議が今後必要</p>	
18.	<p>紀北町商工会【JAPANブランド ザ たべきり】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>■専門家招聘 当紀北町へ専門家を招聘し、『JAPANブランド ザ・たべきり』シリーズ商品製造の開発事業所を視察及び当商工会とミーティングを行った。</p> <p>●平成18年8月24日(木)・25日(金) 庄 司 仁 氏(商品開発)</p> <p>＜担当者のコメント＞ 実験店舗での首都圏生活者の商品及びパッケージ反応とすり合わせるほか、当商工会職員から9月に開催する台湾実験店舗「台湾シティ・スーパー」での富裕層消費者の感触と反応の報告を行い、商品開発及びパッケージ改良などについての提案意図を10月頃にいただく予定。</p>	
19.	<p>輪島商工会議所【「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>4月 JB 実行委員を公募し、それにあわせ各漆器関連組合より委員の選出を依頼。</p> <p>5月 JB 準備会において、実行委員の選考、当所正副会頭会議において決定。</p> <p>6月 JB 実行委員会で、今年度の方向性について検討・確認を行い、日商専門委員より指摘のあった海外については、NY の方向一本に絞ることを意思決定。さらに実行委員会を新発信、再発信、創造の三分科会にわけ、事業推進を行う事を決定。</p> <p>7月 新発信分科会において、海外展示会の企画、検討を行い昨年度も好評を得た日本クラブにおいて、9月下旬に展示会を開催する事を決定。また、常設展示場開設にむけての物件調査・選定にも参加。</p> <p>8月 9月下旬展示会及び常設展示場内容について、準備。下旬に常設展示場の物件について、オーナーにプレゼンテーションを行い13社競合の中から、3社までの選考に残る。</p>	

	<p>9月 常設展示場について、3社から最終的に1社に選ばれる。現在、9月20日からのNY日本クラブ展示会及び常設展示場の準備を行っている。</p> <p><担当者のコメント> 実行委員会を3分科会に分けた事により、各分科会において事業内容をつめて動く形がとれている。 NY常設展示場については、その物件の目途がついたので、今後さらなる詳細内容を詰めていかなければならない。</p>
20.	<p>能登町商工会【『能登の醸し』ブランド発信事業】</p> <p><今月の事業実施状況> ・石川県工業試験場に対し、低塩いしり及び脱塩いしり粉末の調整について研究を依頼した。 ・町内いしり生産者に対し、海外輸出に関するアンケート調査を実施した。</p> <p><担当者のコメント> いしりの持つ優れた成分を損なわずに、低塩化及び完全脱塩を行い、いしりの高付加価値化、更にいしりサプリメントへの可能性を追求したい。また、現時点で一番の課題である搾りかすの有効利用への応用も考えていきたい。 町内生産業者7社に対し、アンケート調査を実施した。現在のところ輸出している企業は1社であり、今後1社でも多く増やしていきたい。輸出しない理由としては・海外において醸造物は認知されると思わない・海外魚醤との価格競争に負ける・国内消費生産量で精一杯・残渣処理の問題・生産能力がない・現在の得意先に迷惑が及ぶ・輸出のノウハウがないなどの理由が挙げられた。行政に求める支援としては・海外現地でのサポート体制の充実・日本国内での相談窓口の設置・輸出に関する専門家の派遣・輸出に関する勉強会、研修会の実施(関税、法律、契約書等)などの意見があった。 全体的に新規客が増え、売上げは伸びているようだが、もともとの生産量も少ないせいもあるが既存客に商品を提供できなく困っている様子がうかがえチャンスロスを引き起こしている状態である。すぐには新たな設備投資は不可能な状況であり、今後の動向を見極めていくように見える。 また、原料となるイカの内蔵の地元供給が追いつかないようである。地域外から調達するのではなく、今後はイカの加工場設置なども考え地元供給を目指す必要があるのではないかと思う。</p>
21.	<p>山中商工会【YAMANAKAブランドの確立】</p> <p><今月の事業実施状況> 8月4日 金沢ジェトロ様と今後の山中漆器ジャパンブランドについて意見交換。 8月7日 ケベック博覧会 委員会。出展内容について。 8月8日 大野商工会議所様とジャパンブランド事業について意見交換 8月10日 金沢ジェトロ様主催による山中漆器ジャパンブランド意見交換会。石川県庁、日本フィンランド交流協会島崎会長と北欧デザインとのコラボレーションについて意見交換を行った。 8月17日 NUSSHAブランドの国内販売開始 8月18日 ケベック博覧会 委員会。出展最終打合せを行った。 8月19日～28日 ジャパンブランド事業「ケベック博覧会日本館出展」及び「カナダ木工芸家との市場調査・意見交換」実施。 8月24日 欧州市場展示会用にNUSSHA商品サンプルをローマへ発送 8月31日 NUSSHAブランド秋の国内展示会打ち合わせ</p> <div data-bbox="959 1592 1477 1980" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1075 1995 1366 2024">ケベック博覧会日本館出展</p>

	<p><担当者のコメント> カナダ国ケベック博覧会日本館にて山中漆器の展示を行った。この博覧会は会期中に約 40 万人の観覧者が訪れ、日本館も開館から閉館まで人の波が切れることなく続いた。我々の展示は多くの興味を惹き、熱心に展示品を見つめ、質問を投げかける方々が大半であった。蒔絵の実演も行ったため「漆器」に対する理解を彼の地において深める効果は高かったと考える。ケベック市からは当市における美術館での展示について打診があった。</p> <p>ケベック博覧会后、かねてから親交・技術交流のあるカナダ国ソルトスプリング島の木工芸家を訪ねた。我々は「漆器」の理解を北米の消費者の間で広げるには「北米の木工芸家が漆を知り、自身の作品に漆を使うことから」と考えており、今回も漆塗りの指導を行った。同島の作家の中には「漆塗りルームを作った」方もおり、徐々にではあるが北米の木工芸家の間にも漆の持つ特性の理解が進んでいる。またこの機会を利用して北米で望まれる木工デザインについて意見交換を行い、今後の市場開拓の調査を行った。</p> <p>NUSSHA は秋に国内でいくつかの小展示会を開催予定、海外でもメゾン&オブジェへの継続出展とイタリア MACEF 等の展示会に試験出品を行う予定。また国内の雑誌、デザイン専門誌等数社から秋冬号での NUSSHA 商品掲載に向けた取材を受けた。</p>
22.	<p>鯖江商工会議所 【めがねのメッカ福井県鯖江市「THE291(フクイ)」のブランド展開】</p> <p><今月の事業実施状況> プロジェクト委員会で、アンテナ特約店訪問し、調査を行なった。(36店舗) 田中コーディネーターによる消費者調査を行なった。 IOFT、シルモ展、香港展の出展計画を話し合った。</p> <p><担当者のコメント> 消費者調査は確かに動向がつかめたが、どんなデザインの物をつくれればいいのか、までは分からないようだ。今後、コンセプトと商品のつながりが重要。</p>
23.	<p>京都商工会議所 【KYOTO PREMIUM】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロデューサーによる選考を経て、本事業への参画事業者9社・団体を内定した。 ・9月3日～9日に予定している、フランス・パリでの事前準備および、メゾン・エ・オブジェ主催団体へのプレゼンテーションに向け、英文企画書の製作(試作品製作・撮影、説明文記述・翻訳、印刷・製本等)を行なった。 ・「メゾン・エ・オブジェ 2006/9 月展 トレンドスペース "Elizabeth Leriche"」出品商品を製作、発送した。 ・8月25日に第1回ワーキング委員会を開催し、事業推進体制や事業コンセプト・開発商品内容等について検討した。 <div data-bbox="911 1211 1481 1503" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">メゾン・エ・オブジェ出展用 英文企画書</p> <p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランスの長期夏季休暇期間と重なったため、在フランスの団体との連絡に大変手間取った。 ・商品開発期間を少しでも長く確保できるよう早期の事業着手に努めてきたが、プロデューサーの公募・選定に時間がかかり、第1回ワーキング委員会は、昨年度通りの開催時期となった。
24.	<p>京都府商工会連合会 【丹後テキスタイル】</p> <p><今月の事業実施状況> 8/5 「コーディネーターと事務局との打ち合わせ」 7月末から8月初めにかけて現地調査に行っておられたコーディネーターとの打ち合わせを実施。特に、第1回のワーキング委員会で決定した方針である“展示会の開催時期は(1)11月末～12月</p>

中旬、(2)1月中旬、のいずれかの時期での開催で期間は3日間程度”をもとに展示会場の候補を探していただいた結果、ギャラリー開催を採用し、開催期間は(2)1月中旬以降でないという時間的な面から開催できないことが確認された。また、会場レイアウトを依頼する空間デザイナーについて協議した。それらをもとに第3回ワーキング委員会への提案内容を確認した。

8/9「第3回ワーキング委員会」

展示会開催時期を来年1月中旬以降とすることが決定。また、空間デザイナーに会場演出と全体コンセプトをお願いすること、現地コーディネーターの採用をコーディネーターに一任することが決定した。会場を決定するために9月にコーディネーターと主催者である当連合会職員が渡欧することが予定された。なお、予算額の最終的な決定のため次回ワーキング委員会でより精査した必要経費の計算結果を提出することとなった。

8/28「第4回ワーキング委員会」

第3回で決定した空間デザイナーが新たに委員として出席。予算・会場・コンセプト等について話し合った。予算については、概ね提出案が了承された。但し、会場については当初のギャラリー案ではなく宿泊と会場を共用できるホテル開催を選択することとなった。ホテルについてはコーディネーターと事務局で対応。それを受けて9月に事前調査にコーディネーターと事務局1名が渡欧する予定となった。事業コンセプト・事業者負担がより明確になったので、新たに参加者を募集することとなった。

<担当者のコメント>

今回事業では事業費の1/3を事業者の自己負担で賄うこととなり、参加者が経費に敏感となっている。今後、事業を実施するためには相当の事前準備と成功の目的が必要となってくる。実際に取り組みを開始してからも意欲ある事業者をいかにまとめていか、個々の事業者の思惑や希望をどこまで事業計画に加味して、当初の目標を達成するか、事業が走り始めるまで結構時間が必要である。

25. 一宮町商工会【～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立】

<今月の事業実施状況>

- ・試作品開発 香立(小)→8月25日納品、香立(大)→9月末完成目標
香りのペアストラップ(コーン2個入16種類)デザイン検討→11月末完成目標
- ・地域ブランド登録「あわじ島の香司」商標登録願提出
- ・HP作成(3カ国語) 日本語のHPを作成中 <http://awaji-kohshi.com/>
- ・広報「あわじ島の香司」ブランドのお香を「のじぎく兵庫」国体出場選手に記念品として配布
2本入香立付7,500セット作成(8月27日)



「あわじ島の香司」

26. 御坊商工会議所【木の国「置き和室」国際ブランド化プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

8月度は事業の中心課題である製品改良と海外展示PRについて推進する。

①製品改良について

- <きのくに御坊ひとま>の集いタイプ(5.5畳)の製品改良ポイントに基づく、試作品製作を推進。
- 憩い半畳タイプは、九州大川で、試作化検討。具体的に試作品製作スタート。

②海外展示PRについて

- ジェトロパリ事務所展示交渉と具体的展開内容の検討
- 当地出身の和田勇氏関連ネットワークを活用して、ロスでの展示PRの可能性を検討

	<p><担当者のコメント></p> <p>製品開発については、試作品製作へ取り組みが進み、今後は海外展示PRへ向けて、スケジュール通りの試作品の完成が課題となる。海外展示PRについては、ジエトロパリ事務所展示はほぼ展示が決定している。展示内容とマーケティング展開検討が課題となっている。ロスでの展示PRは、これから展示場所探索・交渉となり、早急に展示の目途をつける必要がある。</p> <p>製品改良・展示PRの目途がつけば、今後、試作品のテスト導入や求評活動などマーケティング展開が大きな課題となるだろう。</p>
27.	<p>松江商工会議所【NEW 松江菓子海外市場開拓プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 6月1日付けにて、NEW 松江菓子実行委員会を立ち上げた。 あわせて第一回実行委員会を開催。また、それにあわせ松江商工会議所内に事務局を設置した。 2. 日経新聞、産経新聞、山陰中央新報社他より取材 3. 7月6日第二回実行委員会 委員会規約の承認、会費額の決定、流通窓口の設置、役員の役割分担 4. 7月18日第三回実行委員会 今年度事業スケジュールについて、販売員のグループと職人のグループについて、今年度商品の開発について、NY展示・試食販売事業について 5. 7月24日販売担当者会議 冷凍実験について、国内共同販売会について、共同店舗の研究について 6. 7月27日職人交流会 新製品の開発について、菓子バーにおける製作製品の構成について 7. 7月28日冷凍実験打合せ 具体的な実験数量、日程、(解凍日と試食会含む) 8. 8月1日 第4回実行委員会 職人交流会・販売担当者報告、渡米事業について 9. 8月22日 第5回実行委員会 セントラル貿易との協議報告、商品開発途中経過報告、渡米事業について 10. 8月25日職人交流会 菓子バー内容について、新商品試作品持ち寄り、 11. 8月30日輸出打合せ、国内販売会打合せ(東京にて) <p><担当者のコメント></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 和菓子は、地域で消費することが基本で、長距離輸送するときには「日持ちがしないことと繊細な形状のために形が崩れやすい」という欠点がある。これまでの2年間で、急速冷凍やパッケージの研究によりずいぶん輸送に耐えられるものとしてきたが、今年からはCAS冷凍技術の導入により対応する研究を行っている。 2. 例年1月か2月に開催していた渡米事業を、今年は気候のよい11月に開催したいとの皆様のご希望があったため東京での事業(当初は11月開催予定)と入れ替えることとなりハードな日程となった。 3. 冷凍技術実験も開始したが、長期保存については期間が短すぎて結論は出ないが良好な手ごたえがある。
28.	<p>府中商工会議所 【FUTON-STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業)】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ラスベガワールドmart展示会視察 とき 7月23日(日)～28日(金) ところ ラスベガス ワールドマーケットセンター、コンベンションセンター等 内容 平成19年1月29日～2月2日開催のラスベガス展示会に出展をするため、現地調査を実施。視察では展示会の雰囲気や出展に際しての注意事項など、主催者であるオバンドウ氏と打合せを行った。また、ラスベガスの家具動向について販売店や住宅物件を見ることでニーズ調査を行った。

	<p>2. 第2回ワーキンググループ会議 とき 8月30日(水) 議題 1)展示会場について 2)事業PRパンフの作成について 3)ラスベガス配布雑誌の広告について 4)輸送料について</p> <p>内容 今年度の出展場所について議論し、ラスベガス視察で得た現地調査を基にラスベガスへ出展を決定した。展示会場の小間割りについては、現地の方と連絡を取り合って、良い条件のところに出展させていただけるように交渉中。その他、事業PRパンフの製作、広告、輸送料について、それぞれ、何社か見積もりを取り、コストや質など、条件にあった会社に決めることを申し合わせた。また、ラスベガスへ出展するまでのスケジュールを決め、これから1月末の出展に向けてすべきことを確認。出展企業の試作品コンセプトについては、次回の会議で具体的なコンセプトイメージを提示していただく予定。なお、試作品の完成は11月中旬をめどにしている。</p>
	<p><担当者のコメント> ラスベガスへの出展は、ラスベガス視察を踏まえての決定であったが、視察の結果、ラスベガスでは日本で家具を作っているという認識がなかったため、1月の出展では、現地の方に興味を持っていただけないのではないかと思う。 また、海外出展では現地代理人に申込手続きなど全て行ってもらっているが、代理人が見つからなかったら、出展まで来ているか非常に不安。</p>
29.	<p>熊野町商工会【「FU-DE」世界的ブームの創出。みんなで描こう！世界のスマイルフェース】</p> <p><今月の事業実施状況> 8月4日:第4回実施委員会 エージェントの決定 PR重視から成果重視へ移項するもの。 8月9日:第5回実施委員会 1つの展示会でなく、化粧筆と画筆・書筆で分かれ効果的に2つの展示会へ出展し両展示会で新商品を紹介展示・商談を実施することとし、展示会費用を試算・予算の検討を早急に行うこととした。予算内であれば、次回会議(9月7日)で2展示会出展を決定するもの。</p>
	<p><担当者のコメント> 試作品開発・評価会議を2回開催、デザインを含め順調に推移9月末には完成見込である。</p>
30.	<p>高松商工会議所【「6jo」(ロクジョウ)ブランド確立事業】</p> <p><今月の事業実施状況> (1) 8月28日 「第1回 プロジェクト委員会」開催 18年度事業計画(案)及び収支予算(案)を審議し承認を得る。 (2) 本年度は2年目の継続事業として、既存商品のデザインや機能の改善を行うとともに、新しい商品の開発に取り組んでいる。 (3) 広報活動として、ホームページの改定作業と展示会等のパンフレットを作成。 (4) 開発商品を市場導入するための巡回展「欲しかったモノできた展」の開催準備。</p>
31.	<p>東かがわ市商工会【市場性を重視した試作品から商品への展開を図り、ブランドの確立と、メーカーと市場を繋ぐシステムの構築】</p> <p><今月の事業実施状況> インテリアトレンドショーへ出展申し込み。</p>

32. 福岡商工会議所【21世紀博多織 JAPAN ブランド】

<今月の事業実施状況>

7月24日 推進委員会を開催。委員会規約と幹事会・ワーキングチーム(WT)の設置およびWTの専門家4名を決定。

同日 幹事会、WT 会合開催。

8月24日 事業計画の実施事業項目、日程について決定。

8月25,26日 博多織サマーフォーラム「博多織未来予想図」、浴衣&博多織のショー、展示会を開催。来場者を対象に博多織の帯の伝統的な折柄「献上柄」の与える印象について、アンケート調査を実施。

博多織サマーフォーラム「博多織未来予想図」(8/25~26)



会議所会員のステッキ製造・販売会社を紹介し、博多織を取り入れた高級ステッキのコラボ商品の開発を検討。

昨年の成果(ブランドとしての商品開発プロセス)を踏まえ、試作品を制作。今後モニターなどによる評価を受ける。



試作品

<担当者のコメント>

上記のほか、デザイナーとの接点作りを進め、具体的に素材生地サンプル提供などを行った。9月の日本ファッションマンズの開催に合わせ、上京しデザイナーとの協議に入る予定。

プロジェクトのHPのリニューアル、欧州市場開拓のための仲介・支援候補との協議など準備作業を行っている。

試作品

33. 大川商工会議所【大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業】

<今月の事業実施状況>

7月20日開催の新ブランド開発ワーキンググループ会議で、JAPANブランド事業に関する商品開発のスケジュールを確認した。また、海外出展としてメゾン エ オブジェへの出展とこれに関する申込状況、及び出展に関するスケジュールの確認を行った。加えて、平成19年1月の出展を効果的なものとするために、平成18年9月のメゾン エ オブジェを視察することを決定した。



新ブランド開発 WG 会議(7/20)

<担当者のコメント>

展示会視察の実施など、参加事業者が主体性を持って事業に取り組んでいる。

34. 広川町商工会【古くて新しい！新風久留米絣ブランド化事業】

<今月の事業実施状況>

8月7日 実行委員会を開催し、若手テキスタイル部会の経過について報告する。アロハシャツほか試作品の制作状況、量産計画について説明し承認を得た。デザイナーとの提携について横浜のROUROUとニニータの西脇さんとの提携で商品開発を行うことが決定した。2社以外でも積極的に提携をすること。今年度は5社との提携を目標にすることを決定した。

海外展示会について、素材はティッシュプルミエ、ファッションは去年の継続でプレタポルテパリに出展することを決定した。前者は、フランス見本市協会の、後者は、ミリビスジャパンの支援をお願いすることで決定した。

テキスタイルの開発については原材料の糸を麻混のものを使用し、柄については、久留米絣の知識のない福岡のデザイナーに依頼して斬新な柄を作ることとなった。

エッセイ写真募集について原案に修正を加えて決定した。写真取りなどについて業者を選定した。

若手テキスタイル部会は、8/4、8/16、8/21、8/22に開催した。新柄のテーマを決定し、デザイナーに伝えて出来上がった物を、絣の図案に修正する作業や、9月上旬に開催される「かすり祭」に展示するための試作品と展示方法、アロハシャツのテスト販売について検討した。



若手テキスタイル部会

<担当者のコメント>

かすり祭の展示に向けて試作品のパターンは出来上がったものの、縫製業者が納期的な問題で見つからず苦労した。最終的には町外の事業者を引き受けてもらい、無事に出展することが出来た。工程に時間がかかるのでスケジュールどおりに運ぶように事業者には新柄テキスタイルの納期についてしつこくお願いしている。事業者もそれは充分理解して積極的に商品開発に取り組んでいる。また、デザイナー任せではなく、やり取りの中で学習を深めていると思う。

35. 苓北町商工会【CERAMICA AMAKUSA 天草陶石・陶磁器ブランドプロデュース事業】

<今月の事業実施状況>

海外展示会(「JAPN EXPO」11月18・19日ロサンゼルス)出展に当たり、開催要項の周知及び関係機関(特に県、現地邦人会)の協力体制の可能性などについての情報収集を行った。

○ホームページの改良(作成途中)

ネット販売機能を追加したり、開発試作品(商品)の紹介ページを追加。

<担当者のコメント>

商工会事業や地域イベントなどで取り掛かりの時間不足。

今後の業務の計画性・タイムスケジュールが極めて重要。

36. 大分県商工会連合会【Harb&Harvest Oitaプロジェクト】

<今月の事業実施状況>

8月8日 専門家とのワーキング会議で今後の事業計画、予算、サンプル発送、試食会等について協議を行った。

(サンプル受付を8月1日～15日 サンプル出荷 8月16日以降 10月～本格的出荷)

37. 鹿児島県商工会連合会【薩摩が誇る美と技のコラボレーション】

<今月の事業実施状況>

・8月25日に第2回ワーキング会議を開催。(1)ブランドコンセプト・(2)スケジュール・(3)海外市場調査について検討。

(1)ブランドコンセプトについては、鈴木コーディネータよりメインテーマ「黒から生まれる色彩とぬくもりのモノづくり」サブテーマとして「プロダクト フォー ワン」が提案された。メインテーマ・サブテーマについては今回のフランス・パリの海外市場調査の報告書を基に決定することとした。

(2)スケジュールについては、試作品は11月末までに完成させ、海外展示会を平成19年1月中旬からフランス・パリ、オーストリア・ウィーンで開催。国内展示会については12月中旬に東京遊楽館で開催する予定で特産品協会と日程調整をする。

(3)海外市場調査については8月31日～9月7日に実行委員長の上水流氏、参加事業所の越間氏、事務局勝田の3名が参加し、大島紬と薩摩切子の評価並びに販路開拓調査と展示会の会場候補先との折衝及び視察を実施。

<担当者のコメント>

・今回、フランス・パリの海外市場調査の報告書を基に、試作品を造っていくことになったが、完成が11月となっているので時間的に問題があるのではないと思われる。

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(1年目)案件:2006年8月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	札幌商工会議所【スイーツの街・札幌 ブランド発信事業】
2.	盛岡商工会議所【南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業】 <p><今月の事業実施状況> フィンランドのデザイナーとフィンランドでの海外調査の日程調整を行い、9月末から10月中旬までの間で海外調査を行なうこととした。(具体的な海外調査の日程が決定したのは9月初旬)。 フィンランドのデザイナーと専門家を盛岡市へ招聘する日程の検討を行い、10月末から11月初旬にかけて招聘することとし、打診中である。 委員候補への事業内容の説明並びに委員承諾の内諾を得るとともに、第1回の委員会開催に向けた日程調整を行い、9月5日に第1回委員会を開催することを決めた。 今後、第1回委員会(9/5開催)、海外調査(10月9日～15日)、第2回委員会開催(10月末、海外調査終了後)を経て、デザイナー・専門家招聘、試作品製作に取り組む予定である。</p>
3.	菟田野町商工会【UTANO ブランドの創出～毛皮・鹿革を活用した地域ブランド構築プロジェクト】 <p><今月の事業実施状況> 化粧・エステサロン部会 ・7月に当部会で鹿革の持つ素材特性を活かした化粧用品(パフ、洗顔スポンジ、化粧マスクなど)の試作品開発とエステサロンでの実用化試験の実施を検討した事に伴ない、今月2回に渡り部会を開催。パフ、化粧マスク、パック、眼の下用パックシート、コルセット、爪磨き用などの製品を試作し、エステサロンでプロのエステシャンに実際に仕事で使用して機能性評価をしてもらった。 ・アイデア探索モニタリングを、(1)50歳代の地元主婦、(2)エステシャン、(3)20歳～30歳代のオピニオンファッションリーダー(TVアナウンサーなどマスコミ関係メイン)の3グループで実施、「鹿革」の感触とイメージする商品に関するフリーディスカッションを行う。</p> <p><担当者のコメント> 鹿革の持つ素材特性については前月記したが、武道防具を主要販路として長年取引して来た背景から、今回検討している新規開拓分野での「鹿革素材」に対する評価、感触の第一印象が良かった事に一定の成果を得ている。 今後は如何に商業ベースに乗せるか、いろいろな面から検討を加えて行きたい。</p>
4.	泉佐野商工会議所【泉州こだわりタオルブランドの構築】 <p><今月の事業実施状況> JAPANブランド事業実行委員会 6月26日(月) 当会議所、行政、外部専門家、タオル業界を委員とした JAPAN ブランド事業実行委員会を開催、同事業の設置規定、正副委員長選任、事業計画(案)、予算(案)、泉州こだわりタオル推進委員会委員、PR委員会委員、今後のスケジュールについて協議し原案どおり承認された。今後、行政、専門家委員、タオル業界との連携の基、事業を推進することとした。</p> <p>泉州こだわりタオル推進委員会 6月13日(火)「泉州こだわりタオル」ブランドの商品開発のため、専門家委員と大阪タオル工業組合を主体に同推進準備委員会を開催し、JAPAN ブランド事業概要、ブランド・イメージ確立のための企画開発、スケジュール(展示会11月(大阪市内)2月(泉佐野市内)、出展見本市は検討)について協議を行い承認された。特にタオル開発については、「泉州こだわりタオル」のブランドイメージ確</p>

立のため、泉州タオル産地の特徴である、「後晒タオル(吸水性が良く、ソフトな独特の風合い)」に限定することとし、テーマを[WABI]とした。また、試作開発者をタオル組合で調整しデザイナーとの個別協議を行うこととした。

7月11日(火)・12日(水)・13日(木)の3日間、個々企業とのデザイン企画を専門家委員である(株)大阪繊維リソースセンターデザイナーと参加企業22社とのデザイン企画の協議、打合せを実施した。

7月24日(月) 同推進委員会を開催し総合コーディネーター森氏と、ブランドビジョンのあり方について協議を行った。森氏より「泉州タオル/泉州こだわりタオルとして産地の特徴を活かしたもののづくり、後晒タオルの良さ、素材の重要性、ブランド化、ものづくりへのこだわり、販路の研究、海外への視野、アメリカの市場など重要性」について意見を伺い、産地体制や販路開拓について意見交換を行った。また、地域ブランドについて「ブランドとは、商品と組織に対する消費者からの評価と期待」であり、地域活性化、地域固有、信頼・基準・管理が重要であるとの事務局より参考資料の提示があった。

専門家委員デザイナーより、今年度の商品企画の現状として約40基礎デザインより約100アイテム×カラーであり、今後、ハンカチ、タオルマフラー、縫製品など提案される予定である。

見本市の出展について清秋協議の結果、平成18年2月に開催の「東京インターナショナルギフトショー」に出展することとした。

8月は同委員会を実施していないが、デザイナーと企業による個別の打合を随時実施、デザイン提案から、各企業により試作(素材選定や製品アイテム他)を随時実施した。

PR委員会

6月19日(月) PR準備委員会を開催し、JAPANブランド事業概要、PR事業(泉州タオルの日キャンペーン他)の実施内容や予算、関空調整事項、求評用タオルについて協議し原案どおり承認された。

7月には、この決定内容を基に、関西国際空港との実施調整、求評用タオルの作成など実施した。

8月2日(水)、同委員会を開催し、泉州タオルのPRの方法、関西国際空港との調整状況、22日(火)にも同委員会を開催し泉州タオルPRの方法確認、セレモニースケジュール、ご来賓ご出席状況確認などを行い、27日に同キャンペーンを実施した。

「泉州タオルの日キャンペーン」

日時 8月27日(日) 11:00

場所 関西国際空港 北イベント広場

スケジュール 11:00 記念セレモニー 11:30 泉州こだわりタオル 求評品配布

内容 泉州タオル商品「泉州こだわりタオル」12000枚を一般消費者や関西国際空港利用者に配布し実際に使用からの求評を受けることで泉州タオルの良さを広め、ブランド価値を高めるための広報キャンペーン。

参加 新田谷泉佐野市長、上垣熊取町長、向井泉南市長、長安衆議院議員、山下大阪府議会議員、村山関西国際空港株式会社長 他 行政関係団体等来賓 計約20名 タオル業界関係者 計約40名

<担当者のコメント>

地域ブランド確立のための、商品開発は、専門家デザインの企画提案、指導からタオル業界(サイジング、染色企業、機屋)の連携により、進められているが、地域性を活かし、ブランド性を高めたものづくり(商品開発)は大変難しいようである。

また、販路開拓は今後の課題となるが、見本市では東京国際ナショナルギフトショーへの出展はタオル組合として、初めてであり前向きな取組である。

PR事業については、今年度は単にマスコミ利用ではなく、地元関西国際空港と連携した業界自身によるPRを行った。今後、タオル業界によるブランドタグ、ポスターなどによるPRを予定している。

長期的には、ブランド商品開発とPRにおいて、一体となった提案や更に効果的な内容などの検討により、ブランド浸透から販路開拓への成果が重要であると思われる。

5. 神戸商工会議所【神戸ブランド Meets 上海】

<今月の事業実施状況>

- ・JAPAN ブランド運営委員会における委員を選定し、承諾を頂いた。委員会は9月以降に開催予定とする。
- ・上海に専門家を派遣し、神戸ブランドのブース出展候補地の適地性や中国のファッション事情、進出の際における課題、神戸ブランドのメディア戦略に関する調査を実施。
- ・上海市場調査(インターネットリサーチ、ショッピング、モニター調査等)の進め方について検討。
- ・商標登録の調査方法について検討。



神戸ブランドブース出展候補地視察
(上海広大広場VIPルーム)

<担当者のコメント>

・委託事業期間や日本のファッション業界の事情、中国の文化や習慣などを考慮すると、開催可能時期が12月～2月に限られる。

・神戸コレクションin上海の中で神戸ブランドとして出展する予定のため、神戸コレクション制作委員会側に開催時期や会場、イベント内容等についてこちらの要望を伝えた。

6. 今治商工会議所【Imabari タオルプロデュース ～「新 Towel ライフ」の演出～】

<今月の事業実施状況>

[6月]

議事・要件……6月19日JAPANブランド育成支援事業説明会の事前打合せ

開催日……平成18年6月19日、場所:テクスポート今治 2階会議室

内容……商工会議所、市役所、タオル組合の関係者による事前打合せ会を開催。

議事・要件……平成18年度 JAPANブランド育成支援事業説明会

開催日……6月30日 11:30、場所:テクスポート今治 2階会議室

内容……インタープランニング(有)の富山達章氏とタオルメーカーとの打合せ会を開催して意見交換。

[7月]

議事・要件……ヒアリング・工場見学

開催日……平成18年7月5日、6日、7日

内容……デザイナーが参加予定企業等今治の代表的なタオルメーカーを見学して意見交換。

議事・要件.....デザイナー名児耶秀美氏との打合せ会
開 催 日平成18年7月5日 17:00、場 所:四国タオル組合 1階応接室
内 容.....新商品開発等について意見交換

議事・要件.....JAPANブランド育成支援事業の打合せ
開 催 日平成18年7月20日 15:00、場 所:テクスポート今治 2階会議室
内 容.....JAPANブランド育成支援事業のすすめ方について意見交換

議事・要件.....ヒアリング・工場見学
開 催 日平成18年7月21日 10:30
内 容.....デザイナーが参加予定企業等今治の代表的なタオルメーカーを見学して意見交換。

[8月]

議事・要件.....新商品開発参加メーカー募集説明会
開 催 日平成18年8月12日 16:00 場 所:今治商工会議所
内 容.....参加希望の有ったタオルメーカーに対して、新商品開発の概要について説明。

議事・要件.....ヒアリング・工場見学
開 催 日平成18年8月22日 11:00
内 容.....デザイナーが参加予定企業等今治の代表的なタオルメーカーを見学して意見交換。

議事・要件.....ヒアリング・工場見学
開 催 日平成18年8月31日
内 容.....デザイナーが参加予定企業等今治の代表的なタオルメーカーを見学して意見交換。

7. 中芸地区商工会【「魚梁瀬(やなせ)杉」再生プロジェクト】

< 今月の事業実施状況 >

8月7日ワーキングにおいて、Gマークの展示会出展に関する打ち合わせと協議。

8月23日～26日 東京お台場の「東京ビッグサイト」においてGマーク展示会へ出展。商品の展示と共に、来場者への調査を実施。



< 担当者のコメント >

今回の展示は販売が主ではないため、購入客は少なかったが、エコへの関心の強まりと共に、本会の展示品については注目を集めた。プレス対策の集計が出来ていないが、Gマークの最終審査に合格すればブランド力がUPする事となるため、最終審査の結果が待たれるところです。

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

戦略策定支援(0年目)案件:2006年8月分

番号

実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

1. 能代商工会議所 (木材製品)

<今月の事業実施状況>

●今月の実施状況

1. 能代商工会議所JAPANブランド事業推進事業「秋田杉ブランド推進委員会」(別紙名簿参照)8月29日(火曜日)商工会館3階にて開催し、設置規約、計画・予算の承認と、小委員会とワーキンググループを組織し、当面は、19年2月末までのスケジュールも承認。
2. 「秋田杉ブランド推進委員会・小委員会(木造住宅推進研究会)」(別紙名簿参照)を設置。8月29日(火曜日)プラザ都にて開催して、9月末日の講話・懇談会の実施も決めた。



秋田杉ブランド推進委員会・小委員会
(8/29 プラザ都)

●来月の実施予定

1. 「秋田杉ブランド推進委員会・ワーキンググループ」(別紙名簿参照)9月19日(火)プラザ都にて開催予定。10月25(水)午後、第2回打合会を開催。
2. 第2回目委員会の開催、ゲストを招へいし、講話・勉強会を開催予定。9月30日(土)。
3. 東京展示会視察研修会の実施11月中旬、第3回委員会の開催で、ゲストを招へいし、再度勉強会を開催予定。

<担当者のコメント>

1. 展示会等の視察は、早めの実施。
2. ブランド化の確立には何かしら形に残るものを想定して、CD、ホームページ、パンフレットが必要になる。また、調査による報告書の作成が必要である。
3. 木の香り漂う。木造住宅とその構造等の普及が必要である。
4. 全国に通用するブランド(モノ)は何かを模索する必要があり、そのための「次善の策」の確立を。

2. 宮城県商工会連合会 (木地玩具、漆器の融合)

<今月の事業実施状況>

- (1)8月11日・12日 先行事例研究(弘前商工会議所)
- (2)8月23日 先行事例研究(会津若松商工会議所)
→ 当該商工会議所における、本事業の取り組みについて事務局及び工人からの説明があった後、質疑応答による意見交換。



先行事例研究
(8/12 弘前商工会議所)



先行事例研究
(8/23 会津若松商工会議所)



参画事業者宅訪問(8/13)

	<p><担当者のコメント></p> <p>いずれの地についても共通して言えることだが、デザイナーと工人が同等の立場で事業に臨むことの大切さを痛感した。事務局としても今後そうした点に十分に配慮しなければならないと感じた。</p> <p>多くの意見を発散させることが「いいモノ」を生み出す第一歩であると感じている。</p> <p>はじめから限界を作ると「いいモノ」も生まれない。</p>
3.	<p>梁川町商工会（ニット製品）</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>・8月30日 第2回「伊達ニットブランド化」推進委員会の開催</p> <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現地調査事業の承認 実施時期9月17日～23日 出席者 会長・委員長・専門委員1名・事務局1名・プロジェクト委員1名 2 アンケート調査の実施 地区内ニット業者150名に対しブランド化事業に係るアンケート調査を実施する 3 事業スケジュール 現地調査の報告会・研修会10月予定 現地専門家の招聘11月に予定 アンケート調査分析報告会・研修会12月予定 展示会検討委員会・アンケート調査委員会 <p><担当者のコメント></p> <p>・事業の内容について、地域のニット業界にどう理解させるか。又、業界関係者の下請け意識改革をどのように進めるのか大きな課題。伊達市の協力で展示会開催を予定しているが、展示の内容について、見本市出店ではなく、独自の展示とするためマルナカインターナショナルと検討をする。</p>
4.	<p>足利商工会議所（雲井織）</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>8月17日に足利銘織創造研究会（足利ブランド準備委員会）を開催し、リーディングプロジェクト案（消費者のメリットにつながるもの）を議論し、足利市がオンリーワンまた、NO1のもの他の地域より誇れるものについてフリートーキングを行った。</p> <p>検討項目をベースに消費者が参加しなくてはと思わせるキャッチフレーズをつくることとなった。</p> <p>(1)ターゲットは誰に絞るのか (2)何を売るのか (3)いつ (4)どこで (5)どのようにして伝えるのか、来月の会議までに各自まとめて発表することとなった。</p> <p><担当者のコメント></p> <p>いかに消費者ニーズにつながるものを作っていくのが難しい課題であると実感した。</p>
5.	<p>鹿沼商工会議所（建具）</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>8月22日 第1回 JAPAN ブランド推進委員会を開催。</p> <p>・JAPAN ブランド事業の内容について説明。特に海外市場調査がメインであり、どのような商品を持参するかを協議。結論は出ず、次回に持ち越す。</p> <p><担当者のコメント></p> <p>海外市場調査でどのような商品を持参するかが難しい。カタログ等はあるが実際に商品を見てもわからないと説明が難しく、そうすると小型の商品に限られてしまうと思う。</p>

6. 糸魚川商工会議所（ヒスイ）

<今月の事業実施状況>

●7/13 第1回ヒスイブランド推進委員会

○JAPAN ブランド育成支援事業について

事業申請の内容を委員に説明。先進地の取り組みと事業主旨をビデオにて参考視聴。

○糸魚川における本事業の目的について

ヒスイ宝飾品の、世界市場への売り込み戦略策定戦略策定を行うことについて確認。

○委員会の設置・専門家委託について

委員会設置規定 市場調査会社選定 デザイナー選定。

○国内外市場調査について

専門家の神田邦夫中小企業診断士より市場調査の方向性と、一般的な宝石の購買行動について講義。

ジャパンジュエリーフェアと香港ジュエリーフェア見学予定を承認。

○次回委員会予定

次回8月9日予定

●8/9 第2回ヒスイブランド推進委員会

○委員変更について

岩崎笑美子氏追加委嘱について審議 承認

○調査事業について

国内外調査 地元情報の収集数社行う予定。訪問先事業所決定。市場調査会社より調査開始について説明。

9/12 ジャパンジュエリーフェア見学で東京宝石業者訪問予定。日程と参加者確認。

9/21～24 香港ジュエリーフェア見学で中国、世界の宝石流通と香港の業者訪問予定。日程と参加者確認。

専門家の野口中小企業診断士よりジュエリーフェアについて説明と、都内宝石業者でヒスイを比較的取り扱っているところの地図とリスト説明。

○次回委員会と地元業者との懇談会開催について



第2回ヒスイブランド推進委員会(8/9)

<担当者のコメント>

宝石業界の情報少なく戦略策定を始めるにあたり、当面業界情報の収集に努める。

7. 甲府商工会議所（宝飾品）

<今月の事業実施状況>

1. 戦略審議セッション会議

第1回 日時 平成18年6月26日(月)AM10:00

場所 甲府商工会議所 401会議室

出席者 31名

- 内容
- 1)委員の委嘱
 - 2)事業の概要説明について
 - 3)事業実施に伴う推進体制等について
 - 4)今後の取組と当面の進め方について

*初めての委員会のため、委員の委嘱の後、事業の概要説明、事業実施に伴う推進体制、今後の取組と進め方について協議した。今後の進め方については、委員会を「戦略審議セッション会議」と「戦略策定セッション会議」に分け、「戦略策定セッション会議」で答申された具体的戦略案を「戦略審議セッション会議」で審議することとなった。また、欠席者には、必ず議事録にて委員会の進捗状況を把握し、次回の会議に臨む様お願いした。

2. 戦略策定セッション会議

第1回 日時 平成18年7月6日(木)PM1:00

場所 甲府商工会議所 501会議室

出席者 7名

内容 戦略策定にあたっての方針について

*各自の役割として、業界の立場から中山、小玉、戦略策定の専門家として山梨総研早川、中田、業界に精通している立場で青島と各自の立場から素直な意見を出し合い議論を進めることになった。当面のスケジュールについては、7・8月は、業界現状の確認を行い、9月の第2回審議セッション会議に向け、戦略策定の方向性と基礎的な確認事項を明確にすることにした。

第2回 日時 平成18年8月2日(水)PM1:00

場所 甲府商工会議所 501会議室

出席者 6名

内容 戦略策定にあたっての方針・現状把握について

*平成11年「山梨県宝飾産業活性化ビジョン」がまとめられ、具体的に業界企業の声をまとめた資料があり、今回の戦略策定の参考にすることになった。時代が経過した資料であるため、県内業界の代表として JAPAN ブランド戦略策定委員会委員を対象に8月中旬に調査を行なうことになった。

第3回 日時 平成18年8月10日(木)PM1:00

場所 甲府商工会議所 501会議室

出席者 6名

内容 ・戦略策定にあたっての方針・現状把握(その2)

*県内業界向けアンケート調査票の内容を検討、締め切りを8月21日、分析は山梨総研が担当。

第1回セミナーを9月8日に開催、先行事例「大川インテリア産業」のコーディネーターである九州大学森田昌嗣氏を講師に招き、我々の JAPAN ブランドへのヒントと業界の意識づけなどを学ぶこととなった。

また、審議セッション会議への提案内容については、(1)業界各社の「ブランド」に対する認識が異なるため、本事業の目指す所の意思統一を行う。(2)0年～3年間ぐらいの計画の流れを明確にした資料を作る。(3)現段階で山梨が「ブランド」化できる物は、プラチナ、彫刻技術、研磨技術であり、これを基に産地ブランドを形成する。また、資料作成の分担を決めた。

第4回 日時 平成18年8月24日(木)PM1:00

場所 甲府商工会議所 501会議室

出席者 6名

内容 1)戦略策定にあたっての方針・現状把握(その3)
2)戦略審議セッション会議提出資料について

*戦略審議セッション会議提出資料の検討と会議の進め方を協議した。

<担当者のコメント>

事業の開始から8月までは、基本的確認事項を中心とした会議で、JAPAN ブランド育成支援事業の理解を得るのに成果があった。

8. 静岡商工会議所 (家具)

<今月の事業実施状況>

◆8月1日(火)「静岡家具ブランド戦略策定委員会」委員 11名・顧問2名(計13名)を委嘱
(任期:平成18年8月1日～平成19年2月28日)

◆8月10日(木)第1回「静岡家具ブランド戦略策定委員会」開催

・委員長について、全会一致で町田光委員を選出した。(町田光委員長:(株)ファニコンインターナショナル代表取締役社長・静岡県家具工業組合副理事長)

・「JAPANブランド育成支援事業」の目的や事業内容について、委員全員が共通認識を持つように事務局より説明するとともに、当該委員会の平成18年度事業計画(案)について提案した。

・当該事業を取り巻く課題や期待、今後の方向性等について意見交換を行った。「“地域一丸”となってブランド育成に取り組むことが重要」「静岡の他の業界との垣根を取り払い、静岡全体を巻き込むような事業にしたい。」「業界が団結して静岡らしい付加価値のある製品をアピールしていきたい。」という前向きな意見が出るとともに、売れるブランドづくりや市場開拓の難しさ等の課題点も挙げられた。

◆8月10日(木)セミナー開催

テーマ:「ビジョンなきところに戦略なし」

講師:(株)シーアイセンター 代表取締役プロデューサー 甲賀雅章 氏

講師である甲賀氏が、3年間、静岡県家具工業組合のビジョン策定委員会プロデューサーとして携わってきた立場から、業界を取り巻く環境の変化、静岡家具の優位性と課題点、今までに策定したビジョンやスローガン、そして、今後の取り組むべき方向性等について講話があった。

<担当者のコメント>

- ・家具見本市やその他のイベント開催等によりややスタートが遅れてしまったが、業界の方との何回かのミーティングを経て、委員会委員には、ほぼ適任者を委嘱することができたと思います。
- ・今後、6月に採択を受けた事業コンセプト(開発の方向性や市場調査の内容等)の再考をして戦略を策定していきますが、さまざまな意見をどのように集約し同じベクトルに方向づけるか、委員長や専門家の方のリーダーシップも重要になってくると思います。

9. 豊橋商工会議所 (佃煮)

<今月の事業実施状況>

三河佃煮ブランド化のためのマスタープラン策定の推進母体となる「三河佃煮ブランディング戦略策定委員会」を立ち上げ、ブランド構築の検討作業に入った。

- H18年7月4日 「三河佃煮ブランディング戦略策定委員会」準備会議開催
 - ・委員会の構成、設置規程(案)を作成
- H18年7月27日 「三河佃煮ブランディング戦略策定委員会」発会式開催
 - ・当委員会を正式に発足
 - ・委員会の構成、設置規程を案通り承認、推進スケジュールを説明
- H18年7月27日 「三河佃煮ブランディング戦略策定委員会」第1回全体会議開催
 - ・(株)船井総研 岡 聡 氏をコーディネーターとして、ブランド構築の方向性について検討を開始した。

<担当者のコメント>

「三河佃煮」に関して、委員各人各様にイメージを持っており、それが必ずしも一致しているわけではなく、「三河佃煮」をどのように定義づけていくかが課題である。

H18年6月22日、23日

尚、委員会発足前ではあるが、年に一度の開催である「FOOD TAIPEI 2006」に2名参加し、視察した。

10. 瀬戸商工会議所 (窯業)

<今月の事業実施状況>

7月14日に、第1回瀬戸地域ブランド委員会を発足させ、委員長に愛知県陶磁器工業協同組合理事長の加藤庄平氏を選出し、事業の進め方について確認を行った。また、(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏を専門家として招聘し、『地域ブランド』および『JAPANブランド育成支援事業の

進め方』について講演を行い、委員の意識統一を図った。
 委員会の実行部隊として、作業部会を設け、陶磁器のメーカーや商社の若手約 18 名が、現在、事業計画の作成に向けて検討を行っている。
 7 月 18 日、8 月 10 日、21 日に(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏、清水一徳氏を専門家として招聘し、3つのリーディングプロジェクト(世界最美味のお茶プロジェクト、オートクチュールプロジェクト、瀬戸基準プロジェクト)の方向性と目的・目標について、コンセンサスの形成を実施した。



瀬戸地域ブランド委員会

11. 蒲郡商工会議所 (繊維製品)

＜今月の事業実施状況＞

- H18.7.13 「ブランド戦略策定準備委員会」 事業説明・事業内容推進について議論。
- H18.8.8～9 「専門家による第1回産地技術調査」 産地の企業調査(商品見本・加工技術調査)。
- H18.8.23 「ブランド戦略策定委員会」 事業計画・予算の正式承認。
- H18.8.31～9.5 「メゾン・エ・オブジェ展視察」 海外市場調査。

12. 白川村商工会 (薬草・山野草)

＜今月の事業実施状況＞

8月は JAPAN ブランド戦略策定支援事業専門委員会を2回開催した。第3回目は白川村の現状把握を行うために観光客の入込み状況等や土産品店における商品の販売状況等を説明し、ブランド化戦略について意見交換を図る。また、コンサルタント業者の選定に向けて意見を重ねた。第4回目は選定されたコンサルタントによるブランド化へのプレゼン及び今後の事業展開並びに方向性につき情報交流を行った。事業推進に当たっては柱となるコンセプトの確立が早急に迫られているため、今までの委員会の意見交換を加味した中でのコンセプト(案)を各委員が次回の会議までに提出いただくことで決定する。

13. 高岡商工会議所 (銅器・漆器)

＜今月の事業実施状況＞

- 第1回準備会 6月14日(水) 場所:富山大学芸術文化学部
富山大学芸術文化学部(専門家)と銅器・漆器業界
14名にて、高岡の伝統産業の状況、ブランド構築の方向性等について協議した。
- 第2回準備会 6月23日(金) 場所:高岡商工ビル
富山大学芸術文化学部(専門家)と銅器・漆器業界15名
にて、高岡独自のブランド構築等について協議した。
- 当所伝統産業部会と富山大学との懇談会
7月11日(火) 場所:富山大学芸術文化学部
富山大学芸術文化学部(専門家)と当所伝統産業部会
の議員19名にて、業界の状況、本事業の内容、高岡独自の
ブランド構築等について協議した。
- 第1回高岡ブランド運営委員会

8月11日(金) 場所:高岡商工ビル
 当所副会頭、業界代表者、行政支援機関、富山大学芸術文化学部(専門家)の委員等14名の出席にて、本事業のスケジュール、実施内容等が承認され、総合プロデューサーの前田富山大学芸術文化学部長から戦略策定の説明があった。



第1回高岡ブランド運営委員会
(8/11 高岡商工ビル)

	<p><担当者のコメント> ブランド内容への思いは異なるが、ブランド構築、業界の現状打破への意識が高いことを再確認できた。</p>
14.	<p>大野商工会議所／勝山商工会議所（醗酵食品）</p> <p><今月の事業実施状況> [6月] ・第1回検討委員会で事業計画案や年間スケジュールについて確認を行い、今後の進め方について、フリートーキングで意見交換を行なった。また、コーディネータにより、検討委員会への参画企業へヒアリング実施することとなった。</p> <p>[7月] ・コーディネータ及び事務局により、委員会の参画企業(酒造、醤油、JA)へヒアリングを行った。 ・7月24日開催の JAPAN ブランド海外出展セミナーに委員長及び事務局にて参加を行った。 ・検討委員会でコンセンサスとコンセプトについて議論を行い、コーディネータにてとりまとめを行った。</p> <p>[8月] ・推進委員会で今後の事業推進について議論を行い、調査事業や研修会の持ち方について議論を行ったが、最終決定はされなかった。 ・検討委員会で参画事業者の方向性やコンセンサスの形成について議論し、基本的な方向性が見えるまで、現在の委員会で検討を行うこととなる。 ・検討委員を对象に、「醗酵食品について」をテーマに、仁愛大学の教授を招聘し研修会を行った。 ・コーディネータ及び事務局にて、JAPAN ブランド事業に取り組んでいる、隣県である石川県山中商工会へ訪問し、JAPAN ブランド事業の取り組みについて調査を行った。</p> <p><担当者のコメント> [6月] ブランド化に対する、委員の意思をどのように進めて行くかが課題である。 [7月] 参画企業のヒアリングに同行し、発酵関係に係る業種の各企業の特性や特徴を知ることが出来た。 [8月] コンセンサス形成を行う中で、地域イメージを「奥越前」か「奥越」かについて、充分議論が行え、意思の統一が出来たと思う。</p>
15.	<p>鳥取県商工会連合会（インテリア）</p> <p><今月の事業実施状況> 委員会等の開催は特に無。</p>
16.	<p>新市商工会（インテリア）</p> <p><今月の事業実施状況> 8月23日(水)19:00～21:00 第4回ワーキング委員会開催 1.フランス「ジパング」への商品の選定作業 2.「ジパング」でのアンケート内容の検討 3.視察報告 ・“「和」Nagomi project”の視察報告 4.成功事例紹介 「ほっと屋」水持産業(手ぬぐい)</p> <p><担当者のコメント> 前回、生活シーン及びターゲットで分類を集約する予定を次回に繰越し、今回はフランス視察及び展示の準備を主として行った。</p>

17. 三加茂町商工会（木製品）

<今月の事業実施状況>

8月7日 ワーキング会議

・試作品の検討

事業者が試作した商品をもとに、コーディネーターのアドバイスをもとに全員で意見を出し合った。

・市場調査時に展示する商品について

下駄メーカーの新商品下駄バッグ及び八折れ下駄、家具メーカーの遊山箱の仕掛品をチェックした。

・アンケート調査について

アンケート内容について検討。プレゼント商品について、案を出し合った。

・ブランドコンセプトについて

水に浮く木製入浴グッズをもとに、ブレストのトレーニングを行い、コンセプト決定のツールを習得した。

8月25日 ワーキング会議

・海外市場調査のスケジュール等の確認

視察の注意点、交渉の際の商品の見せ方等について、コーディネーターの意見をもとに確認した。また、アンケートの内容について最終チェックを行った。

・新商品の検討を行った

前回のワーキング会議で検討した商品の改良具合などについて検討。

・方向性の検討

女性宝飾品の収納ということをコンセプトに商品開発することを決定した。

<担当者のコメント>

パリ市場調査を前に、準備にあけくれた感がある。8月に出したコスメ関連グッズなどの方向性の検証を残りの日程でつめていく必要がある。

18. 五十崎町商工会（和紙）

<今月の事業実施状況>

★ワーキング

●制作ワーキング

第1回(8/ 2) 協議・決定:フランス視察準備について

第2回(8/22) " "

●調査研究ワーキング

第1回(8/ 2) 決定:プロジェクト名「Ja GENA(じゃ げな) (Japon GENA)」・会社設立(H19. 2月1日)

第2回(8/10) 決定:国内展示会等の視察・フランス視察準備

<担当者のコメント>

次年度に向けて、どのようにステップアップするか協議をしたほか、9月のフランス視察準備について協議を重ねた。

委員の皆さんの、熱心さと自主的な活動に支えられて、フランス視察の準備も出発直前まで実施された。

五十崎の資源調査を行い、地元の資源(職人)マップ作製することについて検討した。

プロジェクト名「Ja(じゃ) GENA(げな)」は、地元の方言をもじったもの。



Ja GeNa パンフレット

19.	<p>香美市商工会（刃物、農機具）</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 日 時:平成18年8月24日(木曜日) 参加者:土佐刃物流通センター・宗石刃物製作所・秋友鍛造・(株)t・c・k・w・香美市商工会・四国経済産業局 議 題:JAPANブランド検討委員会 内 容:土佐打刃物の強み／弱みの調査と確認</p> <p>日 時:平成18年8月24日(木曜日) 参加者:(24日)秋友鍛造所・宗石刃物製作所・土佐刃物流通センター、(25日)西山商会 議 題:参加企業の調査 内 容:参加企業の生産品の調査及び生産能力の確認</p>
20.	<p>大木町商工会（花萼産）</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ JAPAN ブランド策定実行委員会・専門部会(流通、市場開拓・生産、デザイン開発)合同会議を8月28日(月)に開催し、策定実行委員会の委員の委嘱状交付し、各実行委員、専門部会委員の紹介をし、実行委員会委員長(福岡県花萼協同組合理事 佐々木 徹)・副委員長(九大大学院教授 清須美 匡洋)又、2つの専門部会の部会長、副部会長[部会長 → 添島勲商店 佐々木 徹・副部会長 → サンエイト 平木 善朗(流通、市場開拓)・部会長 → 石橋 勝義・副部会長 → 江口 信博(生産、デザイン開発)]を選出し、議長の佐々木実行委員長より議事は進行し、(1)Jーブランド策定実行委員会設置要綱を説明し、審議し委員会に諮ったところ全員異議なく可決承認した。 (2)Jーブランドのプロジェクトの概要と目標・スケジュール及び推進体制・予算についての説明をし、審議し委員会に諮ったところ全員異議なく可決承認した。 (3)その他については、(1)「花萼の方が、畳表に比べて差別化しやすいのではないのか」、(2)「い草が減少したのは、採算ベースに乗らなかったからである」、(3)「各問屋のブランドとこの事業のブランドとの整合性についてはどうか」、(4)「この地域で生産した『い草』がすばらしいものであるということは、我々には分かっているがブランド化して行くためにはどうすればいいのか」と言う意見がでた。</p> <div data-bbox="940 1077 1465 1469" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">JAPAN ブランド策定実行委員会・ 専門部会合同会議(8/28)</p>
21.	<p>小石原村商工会（陶器）</p>
22.	<p>城島町商工会（瓦インテリア、河川用環境ブロック）</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ ●平成18年8月3日:城島瓦 JAPAN ブランド戦略策定委員会(第一回技術部会)を開催 1. 佐賀大学理工学部都市工学科へ行き、根上助手からこれまでの研究成果について概要説明を受けた。 有明粘土は、海生粘土(暗灰色、塩分高い)と汽水域粘土[蒲地粘土](淡灰色、塩分低い)に大分される。物性がかかなり異なるので、分けて考えたほうがよい。</p>

有明粘土は珪藻遺骸を大量に含み、これが塑性を大きくする要因である。

強度改良の方法について

- ・建設省指針では、「泥土」に分布され、最低ランク
- ・石灰、セメントによる改良効果あり
- ・各種廃棄物を混合し、粒状材料を開発する(フライアッシュ、下水処理場の焼却灰)
- ・佐賀大、熊本大、九州大、福岡大等で研究報告あり

2. Q&A

- ・採取の場所でかなり物性が異なるので要注意
- ・土壌改良剤としての用途はあると思う(ある業者とゼオライトを混合し、土壌改良剤にする方法を協同研究している。)
- ・高分子吸収剤(紙おむつに使用)で水分を固定する方法はどうか?
- ・潟粘土に水硝子とセメントを添加すれば固化できる。

●平成18年8月18日:城島瓦 JAPAN ブランド戦略策定委員会(第二回技術部会)を開催

1. 福岡県工業技術センター 化学繊維研究所にて、8月3日に筑後川において採取した潟粘土サンプル(3箇所採取)を、化繊研の真空エクストルーダー(大石製作所)で成型し、各種物性を測定する。

各サンプルごと、テスト・ピース 50本作成した。

それぞれ25本ずつ瓦協同組合、化繊研が乾燥、焼成したあと物性を測定する。

●平成18年8月22日:城島瓦 JAPAN ブランド戦略策定委員会(第二回デザイン部会)を開催

1. 今村慎一 鬼瓦工場見学
2. 筑後川流域の潟積状況見学(船から)
3. まとめ

8月3日にサンプリングにより、焼成後(強度測定、吸水率、表面状態)、加工技術の方向性(乾燥+焼成、焼成なしの脱水・乾燥、そのまま使う)、用途の方向性(護岸ブロック+水質浄化、敷瓦的使い方、畔ブロック、たたき、吸水性舗装材、植栽ポット、土壌改質材)など、意見交換がありました。

<担当者のコメント>

(1)プロジェクトのコンセプト、ワークスコープ、スケジュール、予算等について基本的な理解が得られた。

(2)委員夫々の立場、専門の観点から貴重な指摘をいただいた。

23. 那覇商工会議所/国頭村商工会 (三線)

<今月の事業実施状況>

第一回委員会が開催され、会次第に沿い、委員委嘱、委員長・副委員長選出、事業概要の説明がなされ平成18年度の事業活動計画について了解を得た。質疑、意見交換の中でブランド化による経済効果が期待できることから、各関係者を多く参集いただくことの要望、過去に三線に関する調査がなく、実態が十分把握されえない状況であるため、調査項目についていろいろな注文が相次いだ。8月~10月までに初期調査を含め海外、県外の市場調査を行い、実態の報告と戦略策定の方向性を第二回委員会までに提案することとなった。

<担当者のコメント>

沖縄三線のブランド化の必要性は、みな一致した考えはあるが、業界のまとまりがない。アクションプログラム策定と同時に、組織化も図っていきたい。